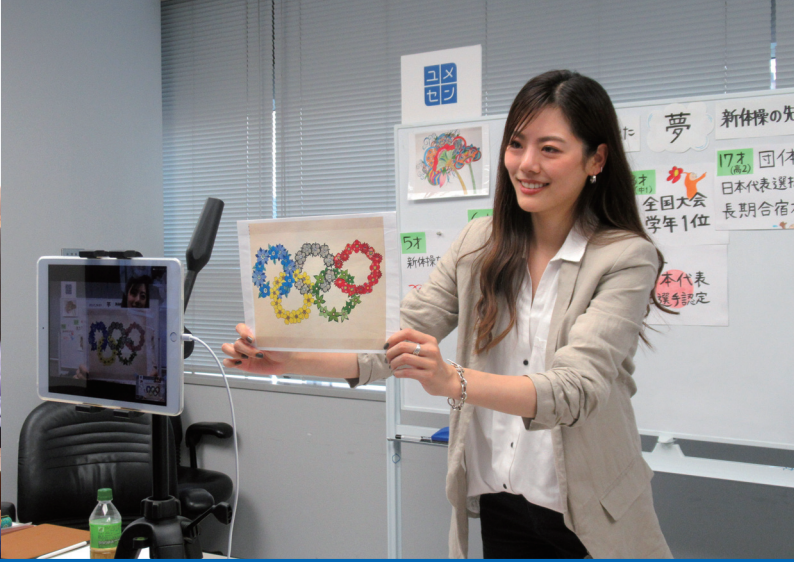




JFA こころのプロジェクト

2020 レポート

「JFAこころのプロジェクト」とは

一人でも多くの子どもたちに、
夢を持つことの素晴らしさを伝えたい。
そんな思いからこのプロジェクトは誕生しました。

いじめや自殺、引きこもり、無気力といった子どもたちに関する
暗いニュースが多く取り上げられていた2006年。

「いま、子どもたちのために、サッカーは何ができるだろう」
そんな思いから、「JFAこころのプロジェクト」は誕生しました。

コンセプトは「夢」。

日本サッカー協会は、「DREAM ～夢があるから強くなる～」という
スローガンを掲げて活動しています。

夢を持つ子どもは、自ら目標に向かって努力し、仲間を大切にすることができる。
そして、われわれには夢をかなえるために努力し続けてきた仲間がいる。

2007年4月、Jリーグ、なでしこリーグの現役選手やOB／OGなど、
サッカー関係者を夢先生として小学校に派遣し、
「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」を伝えていく
「夢の教室」がスタートしました。

2007年のスタートから14年、“熱きこころ”を持つ仲間の輪は、
競技、ジャンル、国籍を超え、広がり続けています。

一人でも多くの子どもたちに「夢の教室」を届けたい。

われわれはこれからも、多くの方々の力を借りて、
持続的な「夢の教室」実現に向けて取り組んでいきます。



公益財団法人 日本サッカー協会

会長 田嶋 幸三

2020年は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて全国の小中学校、高校、特別支援学校が一斉休校になったほか、運動会や部活動、体育祭や文化祭など学校行事の縮小や中止が相次ぐなど学校教育も大きな打撃を受けました。

JFAこころのプロジェクトも予定されていた新学期からの「夢の教室」を実施できず、開始したのが3カ月遅れの7月でした。しかし翌月には再び感染者数が増加したため、すぐにオンライン授業に切り替える準備に着手。学校との連携や通信環境の整備、授業の再構築などスピード感を持って進め、10月に新たなスタートを切りました。

リモートによる授業で夢先生の熱意や気迫が子どもたちの心に届くのかという危機もありました。しかし、プロジェクトと自治体、学校が一体となって体制を整えたことで通常の「夢の教室」と違わぬ授業を行うことができました。モニターの向こうにいる子どもたちに対し、身振り手振りで熱っぽく話す夢先生、一人一人にメッセージが届くようにと、授業の脇で忙しく動くスタッフたち。子どもたちの真剣な眼差しもモニターから伝わり、夢先生らの熱意が確実に届いていることが見て取れました。あらためてこのプロジェクトが持つ普遍的な価値を確認することができました。

日本サッカー協会(JFA)は今年、創立100周年を迎えます。節目の年に新型コロナウイルスの流行という未曾有の事態に直面し、次の100年に向けて地域社会や国際社会にどう貢献していくのかを問われたような気がします。

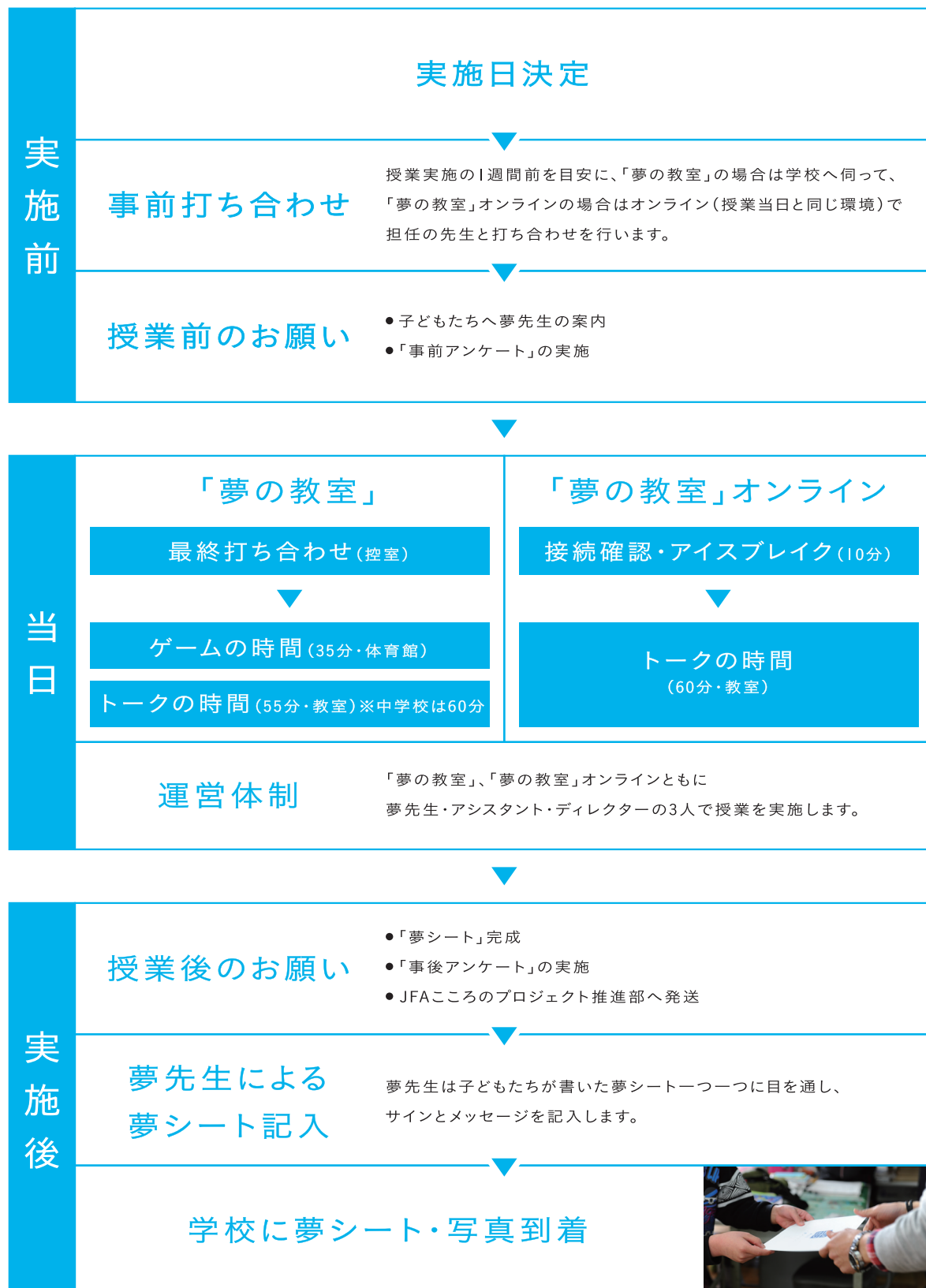
東日本大震災復興支援として、日本スポーツ協会と日本オリンピック委員会、日本トップリーグ連携機構、JFAの四者で行ってきたスポーツこころのプロジェクトが今年3月で10年間の活動を終えるため、今後はその役割をJFAこころのプロジェクトが担っていくことになります。今後も子どもたちの健やかな成長を願う気持ちと使命感を胸にJFAの重要な社会貢献活動としてこの活動を継続させていく覚悟です。

しばらくはオンライン授業を続けていくことになると思いますが、一日も早く新型コロナウイルスが終息し、再び「夢の教室」で子どもたちと触れ合いながら夢について語り合える日が来ることを願ってやみません。

最後になりましたが、コロナ禍という厳しい状況下で本プロジェクトを支えてくださる関係者の皆さまに心からの敬意と感謝を表するとともに、今後も子どもたちの健全な成長のために、変わらぬご理解を賜りますようお願い申し上げます。

「夢の教室」実施の流れ

2020年度は、従来の「夢の教室」に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターネットを利用してJFAハウスと教室をつなぐ「夢の教室」オンラインを開催しました。



2020年度「夢の教室」年間実績・活動記録

「夢の教室」	実施回数	実施学校数	参加児童・生徒数
	21回	7校	730人

「夢の教室」 オンライン	実施回数	実施学校数	参加児童・生徒数
	965回	483校	28,382人

年間実績	実施回数	実施学校数	参加児童・生徒数
	986回	490校	29,112人
	実施地	夢先生	
	1都1道1府33県	160人 サッカー関係者 49人 サッカー競技以外 104人 アスリート以外 7人	



夢があるから強くなる～ユメセンメッセージ

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小中学校に伺って行う「夢の教室」を一時中止・延期としました。しかし、先行き不透明な状況だからこそ「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」を夢先生から子どもたちに語ってもらい、その動画をJFAの公式ホームページで配信しました。

ご協力いただいた夢先生：25人

秋本真吾(陸上競技)、東俊介(ハンドボール)、池田めぐみ(フェンシング)、石川直宏(サッカー)、大竹七未(サッカー)、大山加奈(バレーボール)、岡里明美(バスケットボール)、落合啓士(ブラインドサッカー)、清宮幸太郎(野球)、久保大樹(パラ水泳)、越本隆志(ボクシング)、小林祐梨子(陸上競技)、杉本美香(柔道)、高橋良輔(ボクシング)、田中琴乃(新体操)、土屋征夫(サッカー)、寺崎直樹(キックボクシング)、中嶋一貴(モータースポーツ)、松野真奈美(ボブスレー)、藤村智美(サッカー)、マック鈴木(野球)、馬淵智子(ソフトボール)、茂怜羅オズ(ビーチサッカー)、山口美咲(競泳)、山崎康晃(野球) ※50音順



今年度、「夢の教室」に登壇した夢先生・アシスタントに授業での工夫や実施した感想を聞きました。



諸隈 直樹
(バレーボール)

私は、「今できることを全力で取り組むこと」「人に優しくすること」というメッセージを伝えたい、という思いで、毎回登壇しています。これは、これまで自分自身が大切にしてきたことです。今年度の授業はオンラインのため、直接語りかけられない難しさがありましたが、その分、伝えたいことをシンプルにまとめ、そのメッセージを何回も繰り返すことを意識して臨みました。この取り組みは、自分自身の授業を見直す良い機会にもなりました。夢に向かってチャレンジしていくことで、楽しみながら毎日を過ごす子どもが一人でも増えてくれれば、これ以上嬉しいことはありません。

私は夢先生として授業をする際、子どもたちが心の内側に抱えているそれぞれの悩みに対して、私自身が当時、抱えていた問題や悩みを伝え、それをどう克服していったかなどを明確に伝えることによって共感や希望、安心を感じてもらえるように意識しています。また、今年度のオンライン授業では、子どもたちに伝えたい「人として成長するために夢を持つ」「人は必ず変わることができる」というテーマや「自分との約束を必ず守る」などのポイントを明確に表記し、オンラインであっても子どもたちの記憶に残る授業ができるように意識しています。



神村 エリカ
(キックボクシング)

アシスタント

初のオンライン授業で、最大の懸念点はインターネット環境でした。授業ごとに電波や機器の状況が異なることにより、子どもたちの視覚や聴覚からの細かな情報収集、コミュニケーション方法や量が大きく左右され、それが授業の組み立てや雰囲気直結してしまいます。「どうすればオンライン授業でも子どもたちと夢先生の距離を縮めることができるか」をアシスタント一人一人が考え、工夫しました。

体育館での「ゲームの時間」とは異なるアイスブレイクを考え、そのクラスでの電波や音声の状況を確認した上で、夢先生に教室やクラスの雰囲気をいかに短い時間で伝えることができるか、アシスタントで話し合いました。

毎回、環境が変わる中で「今日、今回、今の状況でのベストな選択は何か」という協議と判断を夢先生・アシスタント・ディレクターがチームとなって行い、乗り越えてきました。

もちろん現地に足を運び、直接、子どもたちと触れ合って授業を行いたいのですが、オンライン授業でも、子どもたちの雰囲気を限られた時間で見抜けるか、夢先生にどう伝えるかを学び、さらに良いチームワークを築くことができました。また、子どもたちからいつも以上の反応が得られた授業や夢シートがあったり、別室や自宅から受講した子どもたちがいたり、この「オンラインだからこそ実現した経験」は今後への大きな道標となると感じています。



片岡 安祐美
(野球)

夢シートは、子どもたちの本音が見える場所だと思っています。授業中、元気に発言してクラスを盛り上げてくれる子どもでも悩みはありますし、不安なこともあります。それを打ち明けられる場所が夢シートです。解決してあげることはできないけれど、前を向くきっかけになればいいと思い、私自身も本音で書いています。これから先、うれしいこともつらいことも、もうやめたいと思うこともあると思います。そんなときに夢シートを読み返して、その当時の自分の気持ちを思い出して、「もう一回頑張ってみよう」という気持ちになってくれたらうれしいですね。

「子どもたちの言葉とおしゃべりをする」それが夢シートを書くにあたって、僕が大切にしていることです。普段、会って話すように硬過ぎず、砕け過ぎず、自然体で子どもたちの言葉に向き合うこと。そこで見つけた子どもたちの思いに、隣で一緒に走ってあげられるような夢シートになるよう心掛けています。子どもたちの思いも十人十色。やっぱり「みんな違ってみんないい」ですね。一人一人の良いところを見つけてあげられるように。その良いところと一緒に伸ばしてあげられるように。そして、大きな夢に仲間と共に向かえるように。これからも子どもたちを応援し続けます。



市川 快
(ダブルダッチ)



「夢の教室」 ～ 夢シート～

夢シート

夢先生と子どもたちは「夢シート」でメッセージを交わします。

後日、夢先生からの返事を受け取った子どもたちは、あらためて夢について考える時間を持つことができます。

※「夢シート」は記念写真と夢先生のサインを添えて子どもたちの元へ届けられます。

小学校

小学校 年 組 名前

① 将来の夢

パン屋さん

になって

いっぱいパンづくりを

したい

② そのためにできること、

やってみようと思うこと

料理のお勉強を
おいしいパンをつくら!

③ いま好きなことや得意なこと

好きなこと えいがみるこ
と。

得意なこと 漢字?

④ キミから夢先生へのメッセージ

夢の先生で想ったこと、心に描いたことなどを夢先生への
手紙として書いてください。

お手紙

今日はとても楽しかったで
す。ほくは前まで夢が
あまりなくて、カズ先生が
授業をしてくれたから、夢
を実現したいと思い、夢
が実現したと思います。
今日はありがとうございました。

夢先生からキミへのメッセージ

さんへ

メッセージ、お手紙、そとへ書いて
くれたこと、おかげで、パン屋さんの夢
が実現した。夢が実現した。夢が実現した。
日本のパンは世界に誇れるパンだ
と思います。美味いパンを食べたい
夢が実現した。夢が実現した。夢が実現した。
世界中の人も夢が実現した。夢が実現した。
夢が実現した。夢が実現した。夢が実現した。

夢先生の話で、印象に残った言葉など

挫折は二重に

挫折は二重に、挫折は二重に、挫折は二重に。
挫折は二重に、挫折は二重に、挫折は二重に。
挫折は二重に、挫折は二重に、挫折は二重に。



中川 賀之 (サッカー)

東京都出身。高校卒業後は海外を渡り歩き、1998年にエクアドルで同国初の日本人プロサッカー選手となりました。翌1999年には南米サッカー連盟主催の国際大会、コパ・メルコノルテにアジア人として初出場。2008年に選手生活を引退し、現在は水戸ホーリーホックのスタッフとして活動しています。

中学校



中学校 年 組 名前 年 月 日

1 夢

英語が上手 になって 日本の魅力も伝える 海外と海外の架け橋を したい (歳までに)
その夢をもったきっかけ
家に留学代行サービスをしたこと。海外で留学していたこと。

2 夢のためにやること

外国人と
関わりがでる
他人と優先して行動が出来る
勉強
日本のことを知る

3 今の自分

(勉強、部活、趣味、興味のあること、
得意なこと、頑張っていること等)

留学したい人達がいる。
海外に行っても興味がある。
留学しよう!!

「夢の教室」で感じたこと、心に残ったことなどを
夢先生への手紙として書いてください。

☆ 夢先生へ ☆

☆ 夢先生からのメッセージ ☆

私は今日みんなの前で自分の夢を
言うのは正直はずかしかったです。……
今は留学しようかと悩んで
いるけれど今日の先生の話を聞いて
それもできるかもしれないかとし
て挑戦してみようと思いました。
何もやる必要も何も怖くない
ので気の負い込めることを
考えて少しずつ夢に向かって
努力していこうと思います。
もし留学で来た方この人に
日本の魅力を伝えたいです。
先生の言う日本の魅力を
教えてください!!

お礼の言葉を言うことが！おススメはー

せん、授業では夢を発表
してくれてありがとう！はずかしい
という思いに勝って実行してくれた
こと本当にうれしい。やめかできる
せんは留学もできるとな
ちゃんは100%思っています。実はなちゃん
29歳の時にワーキングホリデーで2年間
オーストラリアに住んだんだ。なにもかも
かすはらしい経験(失敗したことも)
で、もっと早く行ってあげればよかったと
思ったよ。旅行と住むのは全然ちがう。
よ！みんな日本にとても興味がある。
日本の伝統工芸品はすごく繊細で
どれも自慢できる！食べ物も。特技も
何か持っているといいよ。お礼を言うことが



藤岡 奈穂子 (ボクシング)

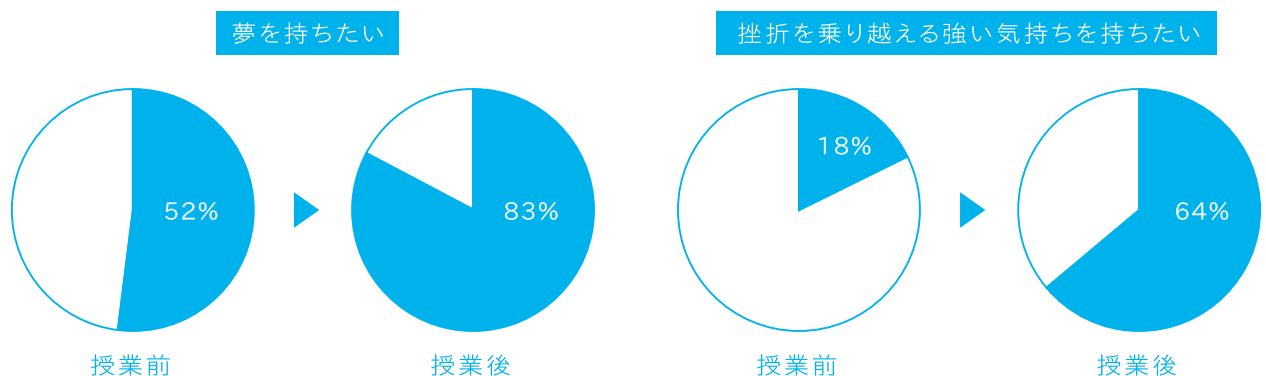
宮城県出身。高校、社会人を通じて5度、ソフトボールで国民体育大会に出場しました。1999年にボクシングを始めると、2004年にアマチュア国際女子トーナメントで銀メダルを獲得。2009年にプロに転向し、2011年にWBC女子世界ストロー級チャンピオンに。2015年には日本ボクシングコミッション公認後初の女子世界王座3階級制覇を成し遂げました。

「夢の教室」 ～学校から届いた声～

子どもたちの意識の変化

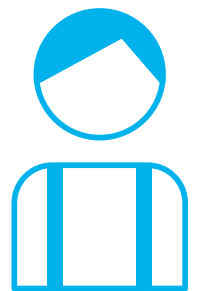
「夢の教室」オンラインを受ける前と後で子どもたちの意識にどのような変化があったのか。アンケート結果の中で変化率の大きかった内容をご紹介します。

小学生



児童・先生の声

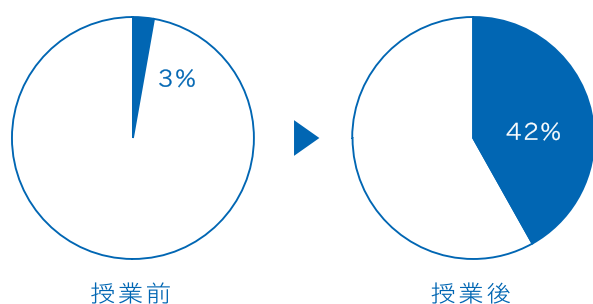
- 諦めかけていた夢に自信が持てました。夢に向かってできることに全力で取り組みたいと思います。夢先生は「頑張る」と言っていたので、私も夢先生に負けないくらい頑張ります。
- どれだけすごい人でも諦めてしまうと夢は実現しないということが分かり、「続ける」ことが大切だと知りました。
- 不安なことも乗り越えられる自信を持ちました。次は私の番だと思うとすごくドキドキします。



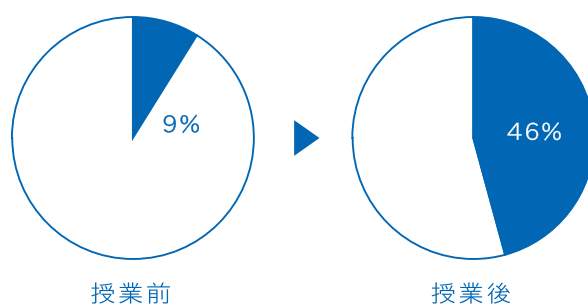
- オンライン授業でも夢先生とお話できて良かったです。新型コロナウイルス感染拡大の影響で何でも自粛となっている風潮の中、「どうにかして…」という思いで実施していただけたこと、本当に感謝しています。今の5年生に合った内容、必要だった言葉をたくさんいただきました。
- 「僕は、何かをして面倒くさくなったらすぐ諦めるけど、夢先生の話聞いて、面倒くさくても最後まで諦めずにやろうと思った」と感想を書いた児童が宿題を提出するようになり、今までにやり残した分も取り戻し始めました。

中学生

勉強することは大切



努力することは大切



生徒・先生の声

- 悩みがたくさん増えて学校が嫌になることも増えたけど、そんな気持ちに私は負けたくない!もっと自信を持ち、何事にも全力を尽くして頑張りたい!という気持ちに変わりました。
- 誰しも頑張る気をなくしてしまう時期があるのだと感じました。自分の価値観が変化するきっかけをプレゼントしてくれてありがとうございました。
- 失敗をしても諦めないで、今できることを一生懸命頑張りたいです。つらい経験も全て良い思い出だったと言える人生にしたいです。



- 生徒が前向きになり、将来について真剣に考えることにつながりました。考え方が変わった生徒もいます。
- 夢シートをきっかけに不登校の生徒と今後のことなどについて話す機会を得られ、久しぶりの登校を促すことができました。
- 教員が話すよりも、華やかな時も、どん底の時も経験している方々が話した方が、子どもたちの心に響くと思います。

実施自治体

JFAこころのプロジェクトではより多くの学校で継続的に「夢の教室」を行うために、自治体にて経費をご負担いただいています（その他団体、学校との協定締結実績あり）。2020年度は下記の自治体で「夢の教室」または「夢の教室」オンラインを実施しました。

北海道 北海道 愛別町 網走市 北竜町	千葉県 我孫子市 市川市 木更津市 長生村 東金市 松戸市	三重県 志摩市 鈴鹿市 岐阜県 北方町 下呂市 美濃加茂市※2	四国 香川県 三豊市
東北 青森県 十和田市 岩手県 住田町 遠野市 平泉町 秋田県 大館市 宮城県 色麻町※1 福島県 本宮市	東京都 大島町★ 小笠原村 神津島村★ 文京区 瑞穂町★ 三宅村★ 北信越 長野県 上松町 上田市 大町市 麻績村 川上村 木曽町 原村	関西 滋賀県 長浜市 大阪府 泉佐野市 泉南市 高石市 兵庫県 三田市※1 神戸市 和歌山県 田辺市	九州 佐賀県 嬉野市 長崎県 島原市 熊本県 長洲町 益城町 苓北町 大分県 宇佐市 大分市 日出町 宮崎県 木城町 延岡市
関東 茨城県 潮来市★ 小美玉市 五霞町 行方市 栃木県 足利市★ 真岡市 埼玉県 朝霞市 さいたま市 白岡市 本庄市 三郷市	富山県 朝日町 上市町 滑川市 福井県 越前市 東海 静岡県 伊豆の国市※2 静岡市 藤枝市 愛知県 春日井市★ 豊田市 碧南市	中国 鳥取県 鳥取市 島根県 川本町 益田市 松江市 岡山県 高梁市 矢掛町	鹿児島県 出水市 指宿市

★2020年度新規実施自治体

※1「夢の教室」（再開時）のみ実施

※2「夢の教室」／「夢の教室」オンライン両方実施

「夢の教室」を実施して

千葉県木更津市

渡辺 芳邦 市長

木更津市では、東京オリンピック・パラリンピックを契機としたさまざまな取り組みを行っている中で、JFAが開催しているJFAこころのプロジェクト「夢の教室」と出合いました。2018年度に2校で実施したことから始まり、2020年度で3年目を迎え、これまで13校64クラスで実施しました。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、慣れないオンライン授業であった上、プロのアスリートと話をするという点で、子どもたちに緊張も見られましたが、授業が始まると夢先生の話に引き込まれ、楽しそうにコミュニケーションを取っていました。

夢の実現を目指す中でさまざまな困難を乗り越えてきた夢先生のストーリーは、その時々「自分の選択」と、夢に向かう「強い意志」によりつくり上げられたものです。実際に夢をかなえた人から語られるそれぞれのストーリーには、子どもたちの心を引きつけ、考えさせ、一步を踏み出させる力があります。「夢の教室」によって、木更津市の未来を担う子どもたちが夢を持ち、自分自身で選択しながら、それぞれの道を切り開いていくことを願っています。



島根県川本町

野坂 一弥 町長

古くは、中国地方随一の大河「江の川」の水運により栄えた、島根県の中央部に位置する川本町は、人々との交流を大切にしている町づくりに取り組んでいます。近年は、1校ずつある小学校と中学校の9年間を、1学年20人規模のほぼ同じ集団で過ごしますので、外部の人々との交流からさまざまな刺激を受けることが極めて重要です。こうした背景から、2010年より「夢の教室」を活用し今年度で10年目を迎えました。本町では、小学5年生と中学2年生を対象としており、多感な時期に2度もこの教室を体験できることは、大変有意義なものと感じています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により実施が危ぶまれましたが、オンラインで開催していただき、画面越しではありましたが、夢先生の話に目を輝かせながら魅了されている子どもたちの姿が印象的でした。夢を成し遂げた一流アスリートと触れ合える時間は、かけがえのない財産となっています。今後も、多くの子どもたちが、「なりたい自分」に向かって挑戦し続けることができるよう、夢を届け続けていただけますことを願っています。



支援企業・団体との取り組み

JFAこころのプロジェクトを支援していただく企業・団体は、その名を冠した「夢の教室」（冠授業）を任意のエリア・学校で開催していただくことが可能です。2020年度は13の企業・団体が冠授業を実施し、186回の「夢の教室」を全国各地の子どもたちに届けることができました。地域貢献活動や自社の出張授業と組み合わせた特別授業の開催、SDGsの取り組みなどさまざまな目的で活用いただいています。

トヨタ自動車株式会社 TOYOTA

愛知県豊田市、トヨタ自動車、中京大学、JFAが一体となり、産学官連携の取り組みとして市内21校45クラスの子どもたちに「夢の教室」を届けました。同社の事業所がある愛知県碧南市にも自社アスリートを夢先生として派遣しています。



夢先生：長崎望未（ソフトボール）



夢先生：青戸慎司（陸上競技）

株式会社きらぼし銀行 きらぼし銀行

支店を置く神奈川県・東京都内9エリアの小中学校28クラスで「夢の教室」を開催しました。



夢先生：藤井瑞希（バドミントン）



夢先生：伊藤華英（競泳）

東京地下鉄株式会社 東京メトロ

東京メトロ沿線のエリアの小学校で「夢の教室」を実施。また、千葉県市川市では東西線を基準にエリアを南北に分け、自治体と連携して市内全域の子どもたちに「夢の教室」を届けています。



夢先生：宮下純一（競泳）



夢先生：下村東美（サッカー）

象印マホービン株式会社 ZOJIRUSHI

同社の水分補給の啓蒙活動「熱中応援団」とコラボレーション。「ZOJIRUSHIユメセンサーキット2020」と銘打ち、公募により決定した小学校9校で「夢の教室」を行いました。



夢先生：滝田学（フットサル）

株式会社ローソン LAWSON

ローソングループの店頭募金などを活用し、全国の小中学校22校42クラスで「夢の教室」を開催。本社近隣での開催時には、同社社員でオリンピックの平野由佳さんが夢先生を務めました。



夢先生：平野由佳（アイスホッケー）

左上の写真は児童にエールを送る竹増真信社長

佐藤工業株式会社 佐藤工業

同社が新校舎の建設工事を請け負った静岡県御前崎市の中学校で「夢の教室」を開催しました。



夢先生：千葉真子（陸上競技）

株式会社ムゲンエステート ムゲンエステート

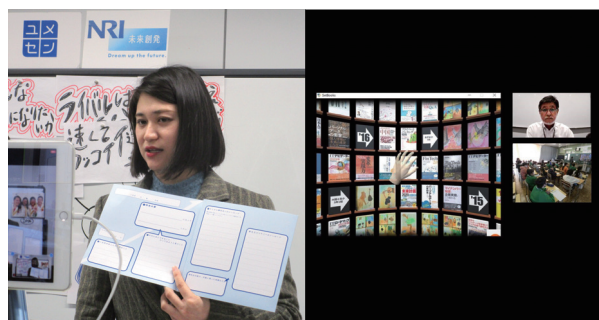
同社事業所近くの小中学校で「夢の教室」を開催。今回で3度目の実施となりました。



夢先生：石川直宏（サッカー）

株式会社野村総合研究所 NRI 未来創発

同社の出張授業「未来のIT教室」とコラボレーションした「夢の教室」を実施しました。



夢先生：山口美咲（競泳）

「未来のIT教室」の様子（バーチャル図書館）

株式会社群馬銀行 群馬銀行

同行本店の最寄りの小学校で「夢の教室」を行いました。



夢先生：落合真理（バレーボール）

「夢の教室」を実施して ～支援企業・団体の声～

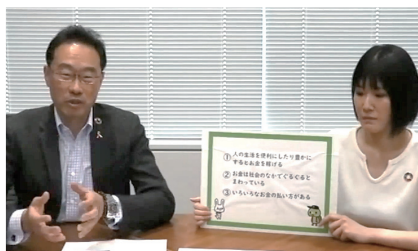
auじぶん銀行株式会社 **au** じぶん銀行



日井 朋貴
代表取締役社長

auじぶん銀行は、「子どもたちの未来を創る」をSDGsの重点施策の一つとして掲げております。「夢の教室」は、子どもたちが「夢」について考える素晴らしい機会であり、子どもたちの健やかで明るい未来につながるものと強く共感しております。

冠授業では「お金の授業」を開催しております。欧米では、子どもの頃から金融教育を受けて育ちますが、日本ではその機会が乏しく、投資の仕方が分からないまま大人になるケースが多いのが実情です。その結果、「貯蓄から資産形成へ」と提唱されても、なかなか「投資」に踏み出せない方が数多くいらっしゃいます。私どもは、人生100年時代において金融教育は必要不可欠であると考え、「お金の授業」を通じて、子どもたちが金融に興味を持つきっかけとなり、豊かな人生を歩むための第一歩になればと願っております。今後も、子どもたちのより豊かな「未来を創る」ことに貢献できるよう、取り組みを続けてまいります。



「お金の授業」の様子



夢先生：小林弥生（サッカー）

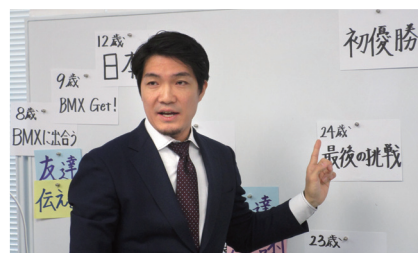
TOYO TIRE株式会社 **TOYO TIRES**



北川 治彦
経営基盤本部長

TOYO TIREグループでは、スポーツやアスリートへのサポート活動や地域貢献活動の一環として2019年より「夢の教室」の開催を支援しています。当社は「人と社会に思いやりと感謝の心を持ち、誠意を込めて力を尽くす」ことを理念の一つに掲げています。当社の所在する兵庫県伊丹市の小学校で、「夢の教室」開催を企画、2021年1月に開催させていただきました。

コロナ禍で先が見通せない状況下ですが、夢先生から「夢を持つことやその夢に向かって努力することの大切さ」を学んだ児童たちには、この経験を原動力に、それぞれの夢を大切に決意して諦めず、力強く進んでほしいと願っています。当社はこれからもJFAこころのプロジェクトを応援するとともに、地域への貢献活動を実施していきます。



夢先生：阪本章史（BMX）

支援企業・団体との取り組み

JFAこころのプロジェクト支援企業・団体

JFAこころのプロジェクトは、下記の企業・団体よりご支援をいただいています。(2021年2月28日現在)



キリンビール株式会社
キリンビバレッジ株式会社



株式会社きらぼし銀行



トヨタ自動車株式会社



株式会社I&S BBDO



株式会社アクト



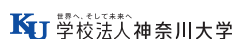
アシックスジャパン株式会社



アスカ美装株式会社



auじぶん銀行株式会社



学校法人神奈川大学



株式会社クーバー・コーチング・ジャパン



株式会社群馬銀行



株式会社Cygames



佐藤工業株式会社



サンメッセ株式会社



株式会社ジーク



株式会社スポーツニッポン新聞社



住友ゴム工業株式会社



積水樹脂株式会社



全日本空輸株式会社



象印マホービン株式会社



株式会社ソディック



大和ハウス工業株式会社



株式会社チュウブ



株式会社TBSテレビ



株式会社テレビ朝日



株式会社電通



TOYO TIRE株式会社



東亜道路工業株式会社



東急グループ



東京地下鉄株式会社



西川株式会社



西鉄旅行株式会社



日本道路株式会社



日本空港ビルディング株式会社



株式会社野村総合研究所



株式会社フジテレビジョン



三井不動産株式会社



ムゲンエステートグループ



株式会社ローソン

「JFAこころのプロジェクト」14年間の足跡

「夢の教室」は2007年4月19日に東京都内の小学校でスタート。

翌2008年には47都道府県の小学校で実施し、海外にも活動の場を広げました。

2010年には中学校にも対象を広げ、これまでの14年間で17,263回の「夢の教室」を行い、51万人を超える子どもたちと夢について語り合いました。

● 2006年10月

JFAこころのプロジェクト推進室（現 JFAこころのプロジェクト推進部）発足

● 2007年4月19日

第1回「夢の教室」実施

東京都品川区（夢先生：羽中田昌／サッカー）

東京都文京区（夢先生：前園真聖／サッカー）



夢先生：羽中田昌（サッカー）

● 2008年4月

初めて自治体とプロジェクト実施に関わる協定を締結 東京都文京区、埼玉県、新潟県長岡市

● 2008年7月7日

初めて海外で「夢の教室」を実施 マーシャル諸島共和国（夢先生：木村哲昌／サッカー）

● 2010年7月12日

中学校での「夢の教室」スタート 福井県越前市



夢先生：有森裕子（陸上競技）

● 2011年5月

東日本大震災復興支援「スポーツこころのプロジェクト」発足

● 2015年5月29日

2014年度に協定を締結した愛知県豊田市で
産学官連携による「MIRAIへつなぐ『夢の教室』in 豊田」がスタート



記者会見の様子

● 2015年11月2日

一般社団法人日本プロ野球選手会と
「夢の教室」の共同実施に関わる協定を締結
全12球団の現役プロ野球選手が夢先生として教壇に立つことが決定



夢先生：山崎康晃（野球）

● 2017年1月～3月

熊本地震で被災した子どもたちの心と体の元気を
サポートすることを目的に「JFAこころのプロジェクト『夢の教室』
in 熊本 presented by KIRIN」を実施



夢先生：藤本主税（サッカー）

- 2017年4月19日
JFAこころのプロジェクト10周年
- 2019年4月1日
ローソン「夢の教室」募金による授業が各地でスタート
- 2020年10月1日
「夢の教室」オンラインがスタート
- 2021年3月
東日本大震災復興支援「スポーツこころのプロジェクト」が
10年の活動を終了



「夢の教室」オンラインの様子

☆ 14 年間の実績 ☆

実施回数	実施学校数	参加児童・生徒数	夢先生		
17,263回 47都道府県+海外20地域	3,690校	519,562人	1,346人		
			サッカー 関係者	サッカー 競技以外	アスリート 以外
2007年度: 247回	2007年度: 118校	2007年度: 7,902人	2007年度: 154人	122人	32人
2008年度: 696回	2008年度: 304校	2008年度: 22,027人	2008年度: 201人	182人	19人
2009年度: 792回	2009年度: 378校	2009年度: 24,937人	2009年度: 201人	182人	18人 1人
2010年度: 877回	2010年度: 488校	2010年度: 26,708人	2010年度: 233人	208人	22人 3人
2011年度: 766回	2011年度: 451校	2011年度: 22,725人	2011年度: 187人	147人	38人 2人
2012年度: 834回	2012年度: 495校	2012年度: 24,603人	2012年度: 200人	148人	50人 2人
2013年度: 1,263回	2013年度: 727校	2013年度: 37,493人	2013年度: 215人	140人	74人 1人
2014年度: 1,519回	2014年度: 854校	2014年度: 45,576人	2014年度: 248人	143人	104人 1人
2015年度: 1,578回	2015年度: 878校	2015年度: 47,120人	2015年度: 269人	101人	164人 4人
2016年度: 1,682回	2016年度: 946校	2016年度: 50,638人	2016年度: 316人	94人	220人 2人
2017年度: 1,953回	2017年度: 1,040校	2017年度: 58,949人	2017年度: 344人	102人	239人 3人
2018年度: 2,081回	2018年度: 1,123校	2018年度: 62,072人	2018年度: 357人	112人	237人 8人
2019年度: 1,989回	2019年度: 1,000校	2019年度: 59,700人	2019年度: 324人	107人	208人 9人
2020年度: 986回	2020年度: 490校	2020年度: 29,112人	2020年度: 160人	49人	104人 7人

※複数回実施の学校は
1校としてカウント

本プロジェクトにご興味のある皆さまへ

【お問い合わせ先】

公益財団法人 日本サッカー協会 JFAこころのプロジェクト推進部
TEL: 03-3830-1803 FAX: 03-3830-7760



開催希望自治体の方は、
こちらの資料請求フォームからも
お問い合わせいただけます。



公益財団法人 日本サッカー協会

JFA ころのプロジェクトホームページ

http://www.jfa.jp/social_action_programme/yumesen/